

職層研修「係長研修」（第1回）

【日時】	令和3年6月16日（水）、24日（木）、30日（水） 9:00～17:00
【会場】	特別区職員研修所
【受講者数】	77名
【講師】	社会福祉法人恩賜財団済生会 理事長 炭谷 茂 氏 公益財団法人東京都人権啓発センター 竹内 良 氏 特別区人事・厚生事務組合 職員 株式会社ヒューマンエナジー 相場 聖 氏、佐伯 学 氏、下垣内 智 氏
【研修内容】	<p><目的></p> <p>係長の役割として必要な部下の育成・指導や勤怠管理、メンタルヘルス管理の知識を習得し、組織管理能力の向上を図ることにより、組織の活性化を図る。また、人権・同和問題の現状、行政をめぐる最近の訴訟事例、えせ同和行為対応及び特別区制度について、係の指導者として身につけておくべき知識を習得する。</p> <p><内容></p> <p>（1日目）</p> <p>① 人権・同和問題の現状 人権問題や同和問題についての正しい知識と最新状況を知る。</p> <p>② 行政をめぐる最近の訴訟事例 行政をめぐる最近の訴訟事例について学び、日々の業務の中で注意すべきことを学ぶ。</p> <p>③ えせ同和行為対応 えせ同和行為に関する知識を習得し、適切な対応方法を学ぶ。</p> <p>④ 特別区制度 特別区制度の特徴について理解を深める。</p> <p>（2・3日目）</p> <p>① 係長の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> ・係長としての役割を理解した上で、係長職に必要となる部下のマネジメントの基本を学ぶ。 ・職員のメンタルヘルス管理のポイントを理解する。 ・職場でのアクションプランを作成し、3日目の研修までに実践及び評価を行う。 ・部下とのコミュニケーションの重要性を学び、部下のモチベーションと能力を引き出すためのコーチングスキルを習得する。
【受講生の声】	<p>【人権・同和問題の現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・差別をしないということだけでなく、一歩進んで社会全体で受け入れ支え合っていくソーシャルインクルージョンという考え方を学びました。またこれを、大企業や公的機関だけが担っていくのではないソーシャルファームがさらに広がっていかないといけないと思います。 <p>【行政をめぐる最近の訴訟事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事実の記録化、根拠法令、手続の確認など基本的なことではありますが、日々きちんと取り組まなければならないと感じました。

・具体的な訴訟事例が多く、参考になりました。

【えせ同和行為対応】

・人権に対してしっかり認識し、自分の考えをもって仕事を行うことにより、えせ同和行為にもしっかり対応できることを学びました。

【特別区制度】

・特別区が他の自治体と異なる特徴を持っていること、制度や財源の仕組みについて理解の助けとなる内容でした。

【係長の役割】

・DESC法、アンガーマネジメントなど色々なテクニックを教えてもらいすぐ実践してみようと思いました。

・MBQを活用したコーチングやメンタルヘルスについて、考えて学ぶことができました。